

観測点データ編集ツール KMSpotData マニュアル

A. はじめに

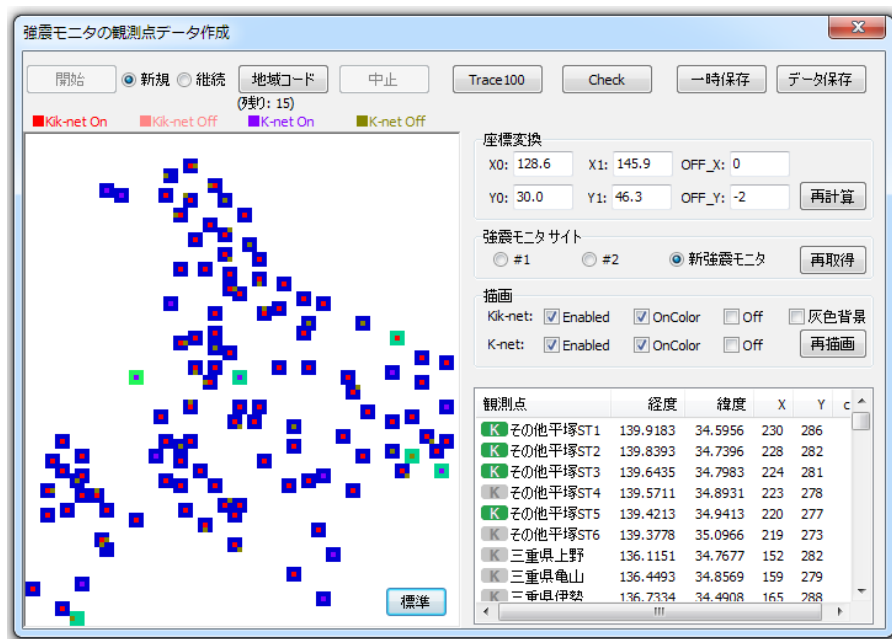
このツールは、EqWatch で使用する強震モニタ観測点リストを作成、編集するものです。
なお、これで作成されるデータファイル Kansokuten.dat は、EqWatch 0.2.0.36 以降対応です。

B. 同梱ファイル

KMSpotData.exe	実行ファイル
Kyoshin.ini	強震モニタ・サイトのアクセス仕様ファイル
Trace100.dat	Trace100 で使用する観測点データ
AreaCode.txt	エリア名、エリアコード、県コードのリスト
AddressToAreaCode.txt	住所からエリアコードを検索するためのリスト
OrgKansokuten.tmp	サンプルー時ファイル（EqWatch 0.2.0.36 同梱の Kansokuten.dat の元データ）
PosToAddress.html	Google Map で使用
KMSpotManual.pdf	マニュアル（このファイル）

C. 操作手順

1. 【新規】ラジオボタンがチェックされていることを確認して【開始】ボタンをクリックします。左に強震モニタデータが表示されたら、【拡大】ボタンをクリックし、画面をドラッグして適当な位置に移動します。



北海道を拡大表示した例

この段階で、ほぼすべての Kik-net 観測点および一部の K-net 観測点が有効になっています。以下の操作によって、残りの K-net 観測点を有効にします。

2. [Check] ボタンをクリックし、「重複観測点のチェック」ウィンドウが表示されたら、[チェック] ボタンをクリックします。

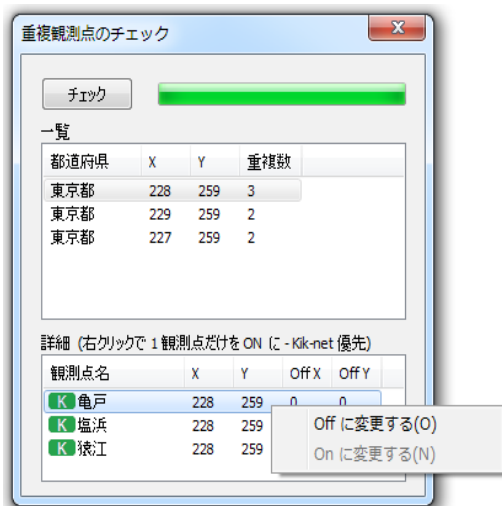
「一覧」ボックスで項目を選択すると、「詳細」ボックスに重複した観測点が表示されます。

各観測点を右クリックし、ポップアップメニューから「Off に変更する」を選択し、1 観測点だけ On になるようにします。

この段階で一覧に表示されるのは東京都の以下の 3 点です。これはまったく同一座標に位置しているため、適当に 1 つのみを有効にして、他を無効にしてください。

X	Y	観測点
227	259	横網、越中島*
228	259	亀戸*、塩浜、猿江
229	259	宇喜田、瑞江*

(EqWatch 0.2.0.36 では、*マークのついた観測点が採用されています。)



すべての重複スポットについて、上記の手順を繰り返します。

参考 On のまま残す観測点は任意です。

3. K-Net 観測点を有効にします。

- a) [描画] ボックスで [灰色背景] チェックボックスをチェックし、[再描画] ボタンをクリックします。

これで Kik-net 観測点はグレーとなり、K-net 観測点だけ色表示されます。

- b) 背景が色表示された K-net 観測点について、上に ■ マークがなく、■ マークだけのものを探します。



- c) ■ マークにマウスを移動し、右クリックして「有効」 (On ■ マーク) に変更します。

観測点の背景色が重なっている場合



- a) ■マークを右クリックして「有効」 (On ■マーク) に変更します。



- b) この状態では、Kik-net 観測点 (■) と K-net 観測点 (■) の背景が一部重なって、K-net 観測点の位置を読み取ると、間違って Kik-net 観測点の色を読んでしまいます。

このため、K-net 観測点の読み取り位置を移動させます。

- c) K-net 観測点を [Shift] キーを押しながらクリックします。
 d) 右上に現れた [↓] ボタンを 1 回クリックして、青色の部分に移動させます。
 e) [終] ボタンをクリックして変更を確定させます。



同時に複数の観測点を移動させる場合



このケースでは、グレー背景の Kik-net 観測点と青背景の K-net 観測点が 1 ピクセルしか離れていないため、重なりによって、両観測点とも間違ったデータを取得する可能性があります。

二つの観測点をそれぞれ移動させて、以下のようにします。



4. すべての観測点について上記の操作を行った後、もし「地域コード」ボタンが通常表示されていたら、これをクリックして、各観測点に「エリアコード」と「都道府県コード」を割り当てます。

参考 2013/12/24 現在、すべての観測点の地域コードを実行ファイル内にデータとして保持しています。したがって、「地域コード」ボタンはグレー表示され、実行できなくなっています。

注意 Google Maps API を使って観測点の経緯度から住所を検索しています。本来、このような使い方は例外的であるため、ときに OVER_QUERY_LIMIT エラーが発生することがあります。これを回避するために、1 秒間隔で、かつ、7 回の検索ごとに 20 秒の休止時間を入れています。すべての検索に時間がかかることがあります。

5. 「Trace100」ボタンをクリックして、Trace100 情報を組み込みます。
6. ここでもう一度「Check」ボタンをクリックして、観測点の重複をチェックします。
7. すべての観測点について処理が終わったら、「データ保存」ボタンをクリックしてデータを保存します。カレントフォルダに「Kansokuten.dat」ファイルが作成されます。

C. 追加事項

1. 作業途中での一時終了

作業の途中で「一時保存」ボタンをクリックすると、カレントフォルダに

「Kansokuten.tmp」という一時データファイルが保存され、ここで作業を中断することができます。

次回起動時に、「継続」ラジオボタンをチェックして「開始」ボタンをクリックすると、この一時ファイルを使って作業を継続することができます。

2. 南関東の観測点の処理について

南関東には（無駄に）K-netの観測点が集中し、非常に作業が難しくなっています。

「描画」ボックスの各項目を切り替えながら「再描画」ボタンをクリックしたり、さらに「再取得」ボタンをクリックして、観測点が見やすくなるように試行錯誤を繰り返すこととなります。



左の図は、各観測点について、分かりやすく境界線を加えたものです。

中央の図は、それに基づいて観測点を割り当てたものです。

■ Kik-net ■ K-net

右の図は EqWatch の拡大画面で表示されたものです。